

第8回 船橋市総合計画審議会 議事録

日時 平成23年3月29日(火)16時00分～17時00分

場所 船橋市役所10階 中会議室

出席委員 中村正董副会長、金沢和子委員、川井洋基委員、斎藤忠委員、有馬和子委員、
斎藤哲瑯委員、石井庄太郎委員、内海優委員、河村保輔委員、椎名博信委員、
深沢規夫委員、村田佐江子委員、本木次夫委員、森田基委員、山下瑠璃子委員
(以上15名)

※欠席 武藤博己会長、北澤哲弥委員、村木美貴委員、伊藤壽紀委員、まきけいこ委員
(5名)

市側出席者 金子企画部長、事務局(山崎企画調整課長、野沢課長補佐、三澤、石原、三
輪、市川、矢野、松丸)

傍聴者 1名

議事内容

1. 開会
2. 船橋市総合計画審議会 答申の提出
3. 答申内容説明
4. 市長謝辞
5. 懇談
6. 閉会

1. 開会

(事務局)

- ・予定の時刻となりましたので、ただ今から「総合計画審議会」を開催させていただきます。
- ・本日は現在のところ船橋市総合計画審議会の委員13名にご出席いただいております。武藤会長、伊藤委員、北澤委員、まき委員、村木委員の5名につきましては所用により、ご欠席との連絡をいただいております。ほかの2名の委員は後程お見えになると思いません。

2. 船橋市総合計画審議会 答申の提出

(事務局)

- ・平成24年度からの本市の基本計画であります船橋市総合計画後期基本計画(素案)についてご検討いただきました。船橋市総合計画審議会の中村副会長より、答申の提出をお願いします。

(中村副会長)

- ・平成23年3月29日、船橋市長 藤代孝七様、船橋市総合計画審議会会長 武藤博己、代読副会長 中村正董。船橋市総合計画後期基本計画（素案）について（答申）。平成22年11月8日に本審議会に諮問された船橋市総合計画後期基本計画（素案）について、審議の結果、別添のとおり答申します。今後の計画策定、及び事業の実施にあたっては、これを十分尊重し反映されたい。なお、審議の経過において各委員から出された意見（各委員の個別意見）についても参考とされたい。
以上でございます。

3. 答申内容説明

(事務局)

- ・ありがとうございました。それでは、中村副会長より答申の概要説明をお願いいたします。

(中村副会長)

- ・それでは、ただ今お渡しした答申書の概要について簡単に説明させていただきます。
- ・船橋市総合計画審議会は、平成22年11月8日に船橋市総合計画後期基本計画（素案）について、市長からの諮問を受け、全体会及び小委員会を延べ10回開催して様々な立場の委員が専門的な見地や市民の目線から、活発な審議を重ねて参りました。
- ・審議にあたっては、社会の潮流や船橋市の特性を踏まえながら、市民ニーズを反映しているか、船橋市のまちづくりの基本理念である「生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし」に合致しているか、施策が市民生活の実態を捉えているか、市民に分かりやすい表現になっているか、といった点を大切に、議論を行って参りました。
- ・この結果、素案の各章における個々の施策は、これらの視点に概ね即しているものと評価した上で、修正を要望する事項を答申にまとめましたので、ぜひ、その内容を反映した計画案にしていただきたいと思います。また、素案の作成にあたって、様々な方法で市民意見の把握と反映を図ってこられたことには、あらためて敬意を表したいと思います。
- ・具体的には、序論、リーディングプラン、分野別計画の各章と多岐にわたるものですが、例えば、リーディングプランに関しては、考え方や5つのプランが導き出された経緯などを記載して、市民に分かりやすくしていただきたいと思いますこと、都市基盤に関しては、超高齢社会を迎える中、高齢や障がい等によって移動が困難になった場合の支援なども含め、これまで以上に生活者の視点に立った整備が求められていること、環境に関しては、生物多様性や里山に関する取り組みなど、自然への広がりをもった環境対策が必要なこと、教育に関しては、家庭教育・学校教育・社会教育を総合的にとらえた生涯学習社会への取り組みについて、経済に関しては、活力を維持するための経済戦略のほか、若者の雇用対策や職業教育について述べております。
- ・そのほか、全般に及ぶものとして、地域の課題を関係者により地域で解決できる仕組み

づくりや、地域の特性・歴史・文化をとらえた船橋らしさの創出、母子保健から雇用までの一貫した子ども・若者対策など、今後9年間で、予算・組織・人材育成を連動させた総合的な対策が必要と思われる課題についても議論がありました。

- ・また、答申の最後の部分になりますが、市民に親しまれる計画とするために、公募等の方法で「愛称」をつけることについても、提案させていただいております。
- ・さらに、計画を進めていく上では、進捗状況と成果を適切に評価して、必要に応じた改善を行うとともに、市民に分かりやすく伝えていくことが非常に重要だと考えております。
- ・なお、後半の資料には各委員の意見をまとめさせていただいております。この意見も今後の基本計画や実施計画の策定過程において、参考にしていただければ幸いです。
- ・私ども、審議会への諮問のほか、アンケートや市民会議など様々な方法で市民意見の把握と反映を図ってこられた計画ですので、策定後は、市民と職員への計画の普及に努め、参加と協働で、夢のあるふるさとづくりに取り組まれるようお願いしたいと思います。
- ・なお、総合計画審議会において、この答申の内容を話し合った後の3月11日に、東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）が起きました。東北地方の広い範囲が大きな被害を受けた未曾有の大災害であり、船橋市においても、帰宅困難者の問題から始まって、液状化現象をはじめとする地震や津波の被害、原子力発電所の事故に伴う放射能の心配や計画停電など、市民の生活にも大きな影響が出ております。我々市民も、微力ながら、何か支援が出来ないか、それぞれが工夫をしているところであります。この答申には記載しておりませんが、こうした東日本大震災の経験を踏まえて、計画案の見直しが必要になってくる点もあるのではないかと思います。
- ・案の中で、防災については、第2章（2-3-1）の「市民の安全・安心を守る災害対応の充実」に記載があり、また、第7章（7-1-2）の「自律的・効率的で透明性の高い行政運営」には「全庁的な危機管理機能の強化」について書かれておりますが、今回の地震の様々な影響を総括した上で、市の役割・市民の役割として、何ができるか、何が必要かをさらに検討し、必要な修正・加筆等を行っていただければと思います。以上でございます。

4. 市長謝辞

(事務局)

- ・藤代市長より謝辞を述べさせていただきます。

(市長)

- ・こんにちは。各委員の皆様方には、大変お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。本日で延べ11回ということで、武藤会長が欠席で本日は中村副会長でございますけれども、皆様方の献身的なご議論には心から感謝を申し上げます。先ほど、中村副会長から、この答申を尊重してほしいというお言葉がありました。今後私どもが9年間の船橋市を運営するわけですが、皆様方のご意見一つひとつを尊重して参り

たいと思っております。

- また、市民への説明については、先ほど分かりやすくというお話がございました。そして、パブリックコメント、議会への議案をいたします。これらを経ていく中で、これからの船橋のあり方について、皆様方のご意見を精一杯尊重して参りたいと考えております。皆様方におかれましても、今後とも船橋に対しますご助言をいただければありがたいと思います。
- そして、先ほど副会長からもお話がございましたように、3月11日に未曾有の東北・関東大地震がございました。議会中でしたが、すぐ議会は休会とし、第一配備ということで対応いたしました。今回初めて帰宅困難者への対応も経験いたしました。
- こういった体験を活かした中に安心して安全なまちづくりにまい進する所存でございますので、中村副会長始め各委員の皆様方におかれましては、どうぞ、ご助言をいただければ大変ありがたいと思っております。
- このたびの答申にあたり皆様方に本当にご苦勞をいただきましたことにつきましては、あらためて答申を真摯に受け止めて参りますので、今後ともよろしくご配慮くださいますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

- それでは、ここで、集合写真の撮影をさせていただきます。

—撮影

(事務局)

- 市長はここで所用により退席させていただきます。
- それでは、お席の方へお戻りください。

5. 懇談

(事務局)

- それでは、委員の皆様方、過去10回にわたり時間を超えていろいろとご議論いただき、誠にありがとうございました。
- 本日、貴重なご意見として答申をいただきましたので、先ほど市長からもございましたとおり、皆様からのご意見をできる限り反映し、より良い計画にして参りたいと思っております。これから市民説明会、パブリックコメント等行って参りますので、今後ともいろいろなご意見・ご助言等をいただければ幸いです。
- これから原案を策定して参るところでございますので、それぞれ忌憚のないご意見・ご感想などをいただければと思います。よろしく願いいたします。

(中村副会長)

- 時間の限りもございますので、1～2分ずつ感想をいただければと思います。

(山下委員)

- ・恥ずかしかったのですが、とても勉強になり、政治に目覚めました。
- ・感謝して、若い人たちの応援をして日々頑張ろうと思います。ありがとうございました。

(森田委員)

- ・地震が少し前に起きていたら、結果が違っていたのではないかと思います。日本も船橋市も考え方が大きく変わっていくのだらうと思います。
- ・そのあたりの方向性については、毎年見直しもありますので、市長を始め職員の皆様、よろしくお願いします。

(本木委員)

- ・お世話になりました。ありがとうございました。
- ・社交辞令ではなく、よくまとまったと思います。不満な部分や言い尽くせなかった部分もありますが、これだけ意見を戦わせながらまとめあげたことは良かったと思います。
- ・これを市民の皆さんに浸透させるための努力が非常に大事だと考えます。

(村田委員)

- ・本当に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・このような大きな地震が起きるとは思っていませんでした。普段、しっかりしなくてはと言っていたが、言葉の上だけだったと思いました。これからは本当に緊張して生活しなくてはならないと思います。
- ・人に依存するのではなく、自分が意識して何をしていかなければならないかを考えなければならぬと思いました。
- ・今回、10年後について考える機会をいただいたが、日々を積み重ね、次世代にしっかり何かを残さなければならぬと感じました。

(深沢委員)

- ・出席が足りず申し訳ありませんでした。
- ・我われ医師団は、こういう時こそ力を発揮する時だと思います。裏方担当で、派手なこととはできませんが、今日お集まりの皆さんの益々のご健康とご健勝を常にお祈りしております。
- ・医師団は新公益法人として活動して参ります。県には医師会がごございますが、新しい船橋医師会館は旭硝子の跡地に予定されている「(仮称)保健福祉センター」にテナントとして入りたいと思っておりますので、皆様方のご指導とご鞭撻をさらにお願ひいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(椎名委員)

- ・商工会議所の地域振興委員会の立場で参加させていただきましたが、10回にわたり協議

した内容を、行政の方々と市民、経済界、各団体の皆様が協働して実現していくことが大切だと思っています。行政任せにしないで我々も頑張りたいと思います。

- ・震災に拠る影響が大きく、どうすればバリアフリーが実行できるか長い時間をかけて話し合いましたが、地震で沿岸部を中心にバリアだらけになってしまいました。バリアを取り除くことが必要ですが、今の自粛の嵐が続くと経済はとんでもないところまで落ち込み、お金が回らなくなってしまう。直接被害を受けなかった、被害が少なかった方は、日本中に潤沢に資金が回るように、今までどおりの生活をしていただきますようお願いし、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(河村委員)

- ・死ぬまで船橋市に住むつもりです。この計画が着実に実行され、10年後船橋市がより良いまちになることを期待しています。
- ・この審議会をとおして、いろいろな人の知力に触れ、私も学ばなければならないと思いました。知己を得られたことに感謝しています。ありがとうございました。

(内海委員)

- ・なかなか意見が言えませんでした、勉強になりました。
- ・震災の話になりますが、船橋漁港も津波で1メートルほど建物が浸水しました。ただの水ではなくヘドロ状で、水が引いた後も1週間くらい港に臭いが充満していました。東北でも臭いが残っている中でずっと作業をしていると思うと、つらい気持ちになります。
- ・船橋市の旧市街はお年寄りが多いので、防災においては、職員の方のソフト面での連携が重要になると思います。
- ・参加させていただき、ありがとうございました。

(石井委員)

- ・社会福祉協議会をお預かりしている一人として日々活動しておりますが、この大災害によって市民の精神構造がずいぶん変わってきたと感じています。
- ・ボランティアなどでいろいろ手助けしなければならないという気持ちを、この計画に基づいて実現しなければならないと思います。
- ・ありがとうございました。

(斎藤哲瑯委員)

- ・夜遅くまで、まじめに仕事をしたのは久々でした。
- ・生涯学習、生涯教育を仕事にしておりますが、学生たちは地域社会を知らずに育ってきておりますので、卒業後、社会に巣立とうにも、羽ばたきを覚えていないため、なかなか地域に出られません。
- ・そういう意味では、今回の大震災で、東北のコミュニティでお互いに助け合っている姿を見ると、これぞ日本の持っている知恵ではないかと思えます。

- ・今マンションに住んでいますが、2～3軒隣に誰が住んでいるのか分からない状態で、大震災が起きたときに助け合えるのか疑問に思います。経済最優先で来ましたが、もつと人を思いやり、積極的に地域社会と関わりを持つことの大切さを身にしみて感じます。
- ・いろいろとお世話になりました。ありがとうございました。

(有馬委員)

- ・発言するよりも皆さんから学ぶことの方が多かったように思います。
- ・船橋を熟知している現場の声と専門家と、それぞれの立場から違うご意見をいただく中で学ぶべきことが多かったと思います。
- ・震災につきましては、臨床心理職という立場で、新潟、阪神の震災の時と同様に避難直後からの心の健康について、日本臨床心理士会、千葉県臨床心理士会で全国を回りながら担当しています。
- ・心の健康が回復するには5年、10年と長い時間が必要になりますが、今回の計画も10年後ということで予測が難しいのですが、絵に描いた餅にならないように、その場その場で状況をよくご判断いただき、具体的な施策をたくさん作っていただき、市民と共に実現していただきますよう大いに期待しております。ありがとうございました。

(斎藤忠委員)

- ・船橋市の10年後の方向性を指し示す総合計画の審議会に皆様と共に参加させていただき、ありがとうございました。
- ・大きな震災の後、大きな課題を背負わされた思いでいっぱいです。我々は4月に市民の審判をいただくわけですが、今後総合計画審議会後期基本計画がどのような形で市民に浸透していくのか、しっかりチェックしながら活動できるように、4月に戦いを勝ち抜いて戻り、行政の皆さんとまた様々な形で議論をして参りたいと決意しています。

(川井委員)

- ・この審議会では毎回2時間の予定が、いつも3時間、それでも足りずに小委員会まで作りました。私がいろいろな会議に参加してきた中でも、記憶に残る会議でした。それだけ中身が十分審議し尽くされているのかもしれませんが。
- ・震災に関しては、幸いなことに船橋市では埋立地の大半が住宅地ではなかったのですが、私も建設委員会の副委員長として先般被災地を視察しましたところ、数十メートルにわたり濤の護岸が崩れたり、住宅の地盤が沈下したり、液状化で道路上に大量の土砂がある様子を目の当たりにしました。私は議会でかねてから防災公園の設置を訴えてきました。基本計画にはずっと以前から記載されていたにもかかわらず、船橋市は防災公園にまったく関心を示していなかったように思います。近隣市には設置されており、市川市には2箇所もあります。これを機に船橋市も本気で防災公園設置の手立てを講じていただきたいと思います。

(金沢委員)

- ・長い間皆さんからいろいろなお話をうかがい、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・後期計画はこれから始まるとのことですが、3月11日の大震災では前期計画が試されたのではないかと思います。前期計画の中で船橋市がどのような防災を行い、市民にどのような支援を行うとしていたのか。そして結果はどうだったのかが問われているのではないのでしょうか。2週間以上経過し、私が今回のことで一番感じているのは、行政情報が市民に届きにくいということです。例えば、罹災証明書が発行されると市・県民税などの減税が受けられる場合がありますが、罹災証明を取るということすら分からない方がたくさんいらっしゃいます。また、船橋市の消防署に屋根瓦が落ちる危険を排除する任務があり、ビニールシートなどを張るために出向くということすら知らない高齢者宅がたくさんあるとのこと。前期計画で行った備蓄等の備えを、いかにスムーズに市民の皆さんにお届けするかという点が、まだまだ十分ではなかったとあらためて感じています。
- ・市長からもお話がありましたが、船橋市全体の被災状況がまだ把握されていません。特に南部の液状化現象については、行けばすぐに状況が分かりますが、私の住まいの近くでも屋根瓦が落ちて大変な状況になっていますが、まだカウントされていません。先ほど漁協のお話もありましたように、海苔の乾燥場が液状化で使用できないこと、谷津田を埋め立てて造った新興開発地では玄関先が崩れてしまったことなど、そういった船橋市全体の被害状況もまだ把握が遅れていると思います。
- ・今回の後期計画にはこうしたことを盛り込めませんでした。今出ている前期計画の問題点について市民の皆さんからどんどん意見をいただけるように、パブリックコメントや説明会などに力を入れていただきたいと思います。平日に行ってもなかなか人が集まりませんので、特に土日など集まりやすい時間帯や日にちを選んで行っていただきたいと思います。

6. 閉会

(企画部長)

- ・たくさんのご議論をいただき、感謝申し上げます。
- ・金沢委員からもご指摘がございましたが、今の組織の状態で今後対応していくのは難しい課題だと思います。環境保全や教育問題などといったご意見もございましたので、後期基本計画を策定し実行する中で、市の組織も含めどのようにしていけば良いのか、説明会等で市民にご理解いただけるような環境を作り、基本計画を浸透させて参りたいと思います。後期基本計画にもまだまだ課題はたくさんあると思いますので、今後ともご意見や連携をいただければと思います。
- ・それでは、これにて「船橋市総合計画審議会」を終了させていただきます。
- ・委員の皆様におかれましては、本当に長い間ありがとうございました。

(以上)